

国語科学習指導案

授業者 森垣 さつき
学年・学級 2年 1組
日 時 10月5日(土)

1 単元 読んで考えたことを話そう

(『どうぶつ園のじゅうい』 うえだみや文 そしきだいすけ絵 光村図書2年)

2 授業づくりについて

本学級の子どもは、学習に対して前向きで、書く活動ではたくさん書こうとしたり、読書の時間には静かに一人で本の世界を楽しんだりする姿が見られる。一方で、全体の場で友達と考えや感想を伝え合うことには、消極的な子どもがいる。また、日常会話の中で「○○ってどういう意味？」と尋ねてくる場面があり、言葉の意味理解にも課題を感じる。そこで、低学年という発達段階をふまえ、語彙の量を増やすことや気軽に話し合える環境を整えることを大切にしていきたい。語彙に関しては、文章の前後にある言葉からイメージを膨らませ想像できるようにしてほしい。説明文や物語文の読み取りや絵本の読み聞かせを通して、言葉とイメージをつなげることで活用できる語句を増やしていきたい。また、挙手をして発言することに抵抗感がある子どもに関しては、ペアやグループ活動を通し、挙手をしなくても自分の考えを伝える場を設定し自信をつけていきたい。

本教材は、獣医である筆者のある1日の仕事について説明している。仕事内容を伝える過程には、動物園のイラストや様々な動物たちの写真が随所に散りばめられており、子どもたちは最後まで興味をもって読み進めることができる。本教材は、一人称「わたし」の視点で語られる。筆者の視点に立って読み進めることができるため、動物園の獣医というあまり身近ではない仕事でも、まるで獣医の仕事を経験しているかのようにも感じられる。また、いつ、どの動物に、どんな治療をし、どう工夫したかが時間に即して整理して書かれているため、内容を理解しやすいと考える。さらに、筆者の書きぶりに着目すると「～してもらおう」「そっと」「こわがらないよう」「ひとあんしん」などの言葉を用いており、動物に対して優しく気遣いながら接していることが分かる。以上のことから、本教材は子ども自身が獣医の仕事を自分事のように読みとり、仕事の内容だけでなく仕事をする上での気持ちなどを想像することに適した教材といえる。

指導にあたっては、時間的な順序に即した1日の仕事内容やその工夫、筆者の仕事への向き合い方や動物たちへの思いを読み取らせていきたい。第1次では、まとまりごとにどんなことが書かれているかを簡単な言葉で表現し、大まかな内容を確認させる。第2次では、文章構成と詳しい内容を読み取っていく。例えば、1学期に学習した「たんぼぼのちえ」と同じように、段落の最初に時を表す言葉が使われていることに気付かせる。このことにより、時間的な順序が分かりやすくなっていると理解を促したい。また、それぞれの動物にした治療には、必ず筆者の工夫点がある。動物の怪我や病気を治療し、命を守る獣医だからこそ、ただ治療するのではなく、動物のことを1番に考えた行動をしていることに気付かせたい。そのために、各時間の読み取りの終わりには、獣医のうえださんへメッセージを書かせる。メッセージを書かせることで、内容の読み取りだけでなく、獣医という仕事や獣医のうえださんの行動を子どもなりに評価していくことになる。第2次のおわりでは、獣医のうえださんにお手紙を書く活動を設定する。これまで本文から読み取れた仕事への責任感や動物への愛情などについて読み直したり、うえださんがどんな人物かを想像したりする活動になると考える。第3次では、「お手伝いをしょうかいしよう」という学習活動を設定した。本教材で学習した文章の書き方を真似しながら、児童にとっての仕事(お手伝い)を、どのような順序で、何をしたかが伝わるように書かせたい。また、お手伝いの仕方を紹介するだけでなく、家族のためにどんな工夫ができたか、どんな思いで行ったかなども獣医のうえださんのように書けるよう促していきたい。

本教材の学習期間に、和歌山県にあるアドベンチャーワールドの体験学習プログラム「動物園の獣医さんってどんなお仕事？」をオンラインで受講する。実際のお仕事の様子を動画で見たり、獣医さんのお話を聞いたりすることで、本教材への理解をさらに深めていきたい。

3 目標

○文の中における主語と述語の関係に気を付けて読み、共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。

○時間的な順序を考えながら内容の大体を捉え、内容と自分の体験とを結び付けて感想をもつことができる。

○進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもち、読んで考えたことを友達と話そうとしている。

4 学習過程

学習活動	教師の働きかけ	評価の視点
【第1次】 獣医さんの仕事について考えよう。		
1) 題名を読んで内容を予想する。本文を読み、獣医の仕事について感想を書く。 2) 本文を読み、形式段落と大まかな内容を捉える。	<ul style="list-style-type: none"> ・獣医についての既有知識を掘り起こして考えやすくする。 ・「たんぼぼのちえ」での既習事項を振り返り、順序やわけが分かる言葉に着目できるようにする。 	1) 動物園の獣医の仕事に興味をもち、見通しをもって学習を進めていこうとする。 2) 時間的順序を考えながら、内容の大体を捉えている。
【第2次】 獣医さんの仕事のわけや工夫を読み取ろう。		
3) 朝の獣医の仕事とそのわけを読み取る。(2段落) 4) いのししとにほんぎるにした仕事のわけと工夫を読み取る。(3、4段落) 5) ワラビーとペンギンにした仕事のわけと工夫を読み取る。(5、6段落) 6) 1日の終わりに行う仕事と、そのわけを読み取る。(7、8、9段落) 7) 筆者の1日の仕事をまとめ、獣医の仕事について、自分の知識や経験などを結び付けて考えたことについて感想を書く。 8) 筆者がどんな獣医であるかを想像する。 【本時】	<ul style="list-style-type: none"> ・獣医の仕事について、観点を明確にしたワークシートを用いることで「いつ」「どんな仕事をしているのか」読み取ったことを整理できるようにする。 ・「そのわけ」「工夫したこと」については、個々によって書き出す分量が異なることから、主語、述語を意識させ、適切な分量で書けるよう支援する。 ・「毎日すること」「この日だけすること」を、視覚的に分けて捉えられるよう板書する。 ・初読後の感想と比べることで、学習を経て獣医の仕事について見方が変わったことに気づくことができるようにする。 ・筆者の獣医という仕事に対する向き合い方から、どんな獣医であるかを考えさせる。 	3) 4) 5) 6) 内容を正確に捉えるために、文の中における主語と述語の関係を意識したり、内容と自分の体験とを結び付けたりして感想をもつことができている。 7) 筆者の1日の仕事をまとめ、獣医の仕事について、自分の知識や経験などと結び付けて感想をもつことができている。 8) 本文の言葉を根拠にして、筆者がどんな獣医か想像している。
【第3次】 おうちでのおしごと（お手伝い）の仕方について友達に伝えよう。		
9) 10) 家でしたお手伝いについて、自分がしたことの順序がわかるように整理し、発表の原稿を書く。 11) 書いた文章をグループで発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みなどに行ったお手伝いを想起させ、友達に紹介したいことについて順序よく整理させる。 ・何をしたか、その理由や工夫・頑張りなどが伝わるように書かせる。 ・考えながら聞き、質問や感想を伝え合えるように促す。 	9) 10) 紹介したい家のお手伝いについて、内容を順序立てて整理し、文章で表現している。 11) お手伝いの仕方について、友達に伝えようとしている。

7 本時の学習（全11時間の第8時）

(1) 目標

仕事に対する向き合い方に注目することで、うえださんがどんな獣医であるか想像することができる。

(2) 展開

学習活動	教師の働きかけ	評価の視点となる子どもの姿
1 前時の学習をふり返り、本時の学習のめあてをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> 前時のふりかえりから、うえださんの性格や人柄についてふれているものを紹介することで、本時の学習課題への関心をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちのふりかえりなどを基にして、学習のめあてをもつことができている。
<p>うえださんは、どんなじゅういさんか考えよう。</p>		
2 うえださんはどんな獣医か、簡単な言葉で表現する。	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習から「うえださんはどんなじゅういさんか」を問うことで、子どもが感覚的に捉えていたうえださんのイメージを表出させる。 「優しい獣医」「動物思いな獣医」「一生懸命な獣医」など、児童の言葉で簡単に発言させる。 	<ul style="list-style-type: none"> うえださんはどんな獣医か、自分の言葉で表現しようとしている。
3 うえださんがどんな獣医かについて、本文の言葉から読み取り、交流する。	<ul style="list-style-type: none"> 本文の書き方に着目させ、「～してもらう」「そつと」「ひとあんしん」などの言葉から、動物への愛情ある姿が想像できることに気付かせる。 すべての仕事を真面目に一生懸命にしている姿から、仕事に対して責任感をもっておこなっていることに気付かせる。 必要に応じて、8段落に注目させることで、動物だけでなく人にも気遣って仕事をしていることに気付かせる。 毎日仕事をしていると、いろいろな日があることを伝え、「もし、いつもの仕事だけの日があれば、うえださんは何を思う？」と問うことで、より筆者の獣医という仕事への向き合い方について考えられるようにする。 自分の考えをグループで伝え合い、様々な考え方があることに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の言葉を根拠にして、うえださんがどんな獣医か想像している。
4 獣医のうえださんに伝えたいことを手紙に書く。	<ul style="list-style-type: none"> 悩んでいる子には、獣医というお仕事を「どのようにしているかな」「どんな思いでしているかな」など声をかけることで、どんな声をかけたいかを想像しやすくする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容を基に、獣医のうえださんに向けた手紙を書いている。